

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-162	13-051	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Where the individual meets the ecological: a study of parent drinking patterns, alcohol outlets, and child physical abuse. 親の飲酒習慣および飲酒施設と児童虐待との関連		
執筆者		
Freisthler, B. Gruenewald, P. J.		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2013 Jun;37(6):993-1000. doi: 10.1111/acer.12059.		
キーワード		PMID
飲酒量依存性, 飲酒施設, 児童虐待, 体罰		23316780
要 旨		
<p>目的： 児童虐待および体罰と、飲酒場所（自宅、バー、パーティ等）および飲酒量依存性との関連を明らかにすること。</p> <p>方法： 対象は電話による調査に回答した、児童を有する 18 歳以上の一般住民 2,163 名。すべてアメリカ・カリフォルニア州の 50 市から集められた。児童虐待および体罰の頻度は Parent-Child Conflict Tactics Scale を使用して計測した。飲酒習慣は continued drinking measures を使用して計測した。聴取したデータは zero-inflated ポアソン回帰モデルにより解析した。</p> <p>結果： 自宅・パーティ、バーでの飲酒頻度が高いほど、児童虐待が高頻度であった。一方で、レストランでの飲酒頻度が高いほど、虐待の頻度は低下した。体罰の頻度はバーにおける飲酒量依存性に増加した。その他の飲酒施設においては虐待・体罰頻度の飲酒量依存性はみられなかった。</p> <p>結論： 親の飲酒習慣の違いが、児童の虐待および体罰の頻度に異なる影響をもたらす可能性が示唆された。また児童虐待の予防として、親の飲酒量に加え飲酒場所も考慮に入れる必要性があることが示唆された。</p>		